

# 総務管理課



交通指導所



信州子どもカフェ



フードドライブ

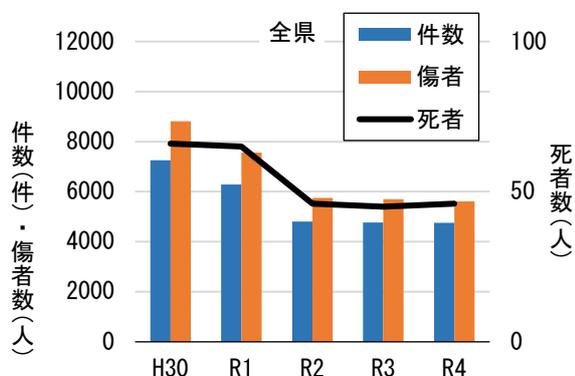
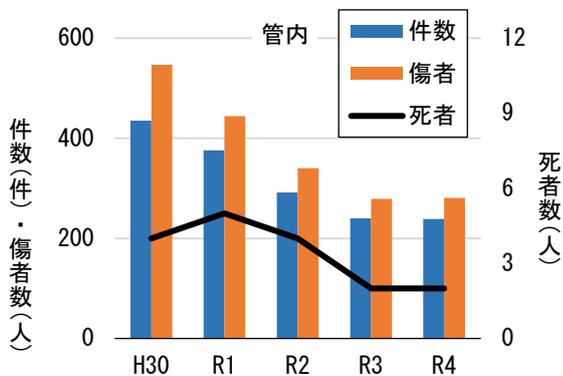


南信州地方部防災訓練

1 交通安全

(1) 交通事故発生状況

令和4年の管内の交通事故発生状況は、交通事故件数 239 件（対前年比-1 件）、死者 2 人（対前年比±0 人）、傷者 281 人（対前年比+2 件）と、いずれもほぼ前年と同様の状況でした。



(2) 交通安全対策

市町村、警察、交通安全協会及び関係団体と連携し、年4回の交通安全運動のほか、交通死亡事故多発時に啓発活動を実施しました。



人波作戦による呼びかけ（中央道飯田 IC）



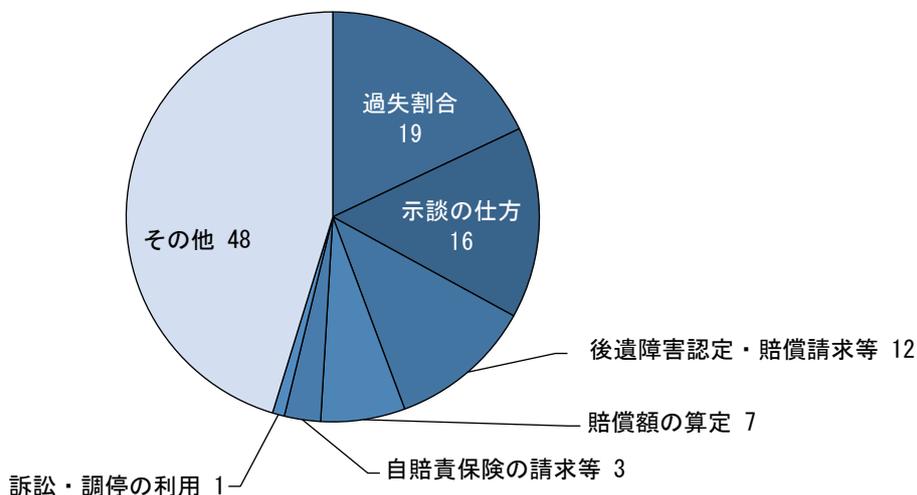
交通死亡事故多発警報の発令に伴う街頭啓発活動

(3) 交通事故相談所の状況

交通事故相談所飯田支所では、職員が以下のとおり交通事故相談に応じました。

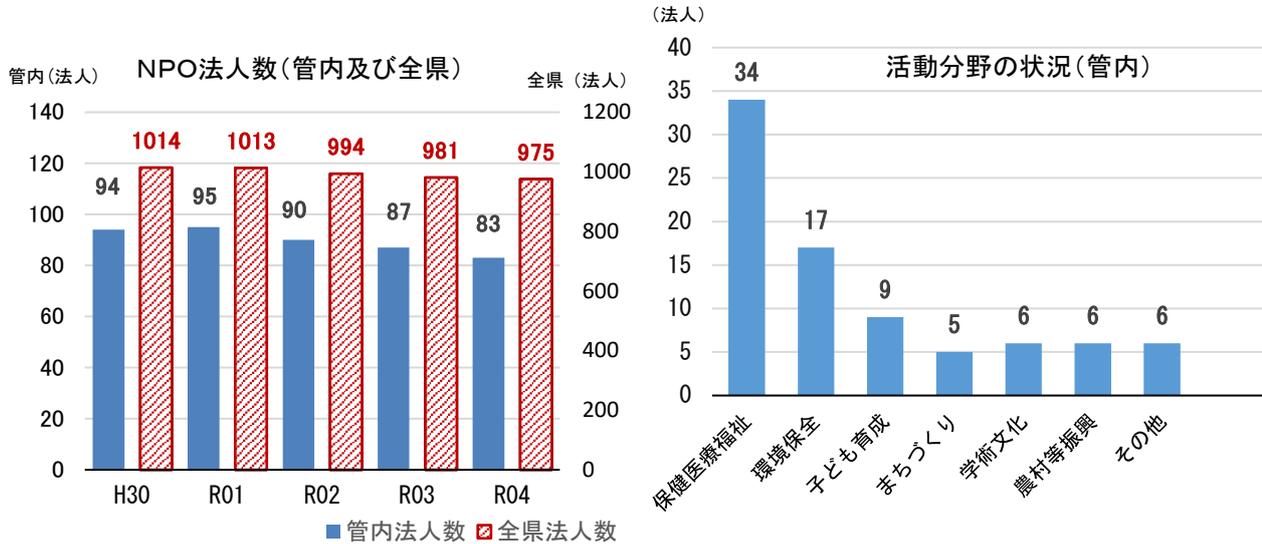
令和4年度交通事故相談（延べ106件）

（単位：件）



## 2 特定非営利活動法人（NPO法人）設立状況

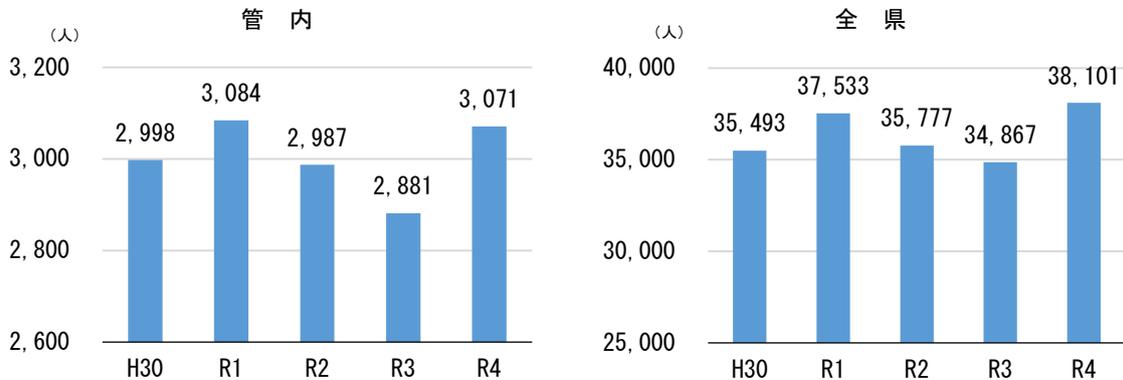
令和4年度末現在、管内にあるNPO法人の数は83法人となっており、主な活動分野としては、保健医療福祉分野が34法人、環境保全分野が17法人で、全体の6割を占めています。



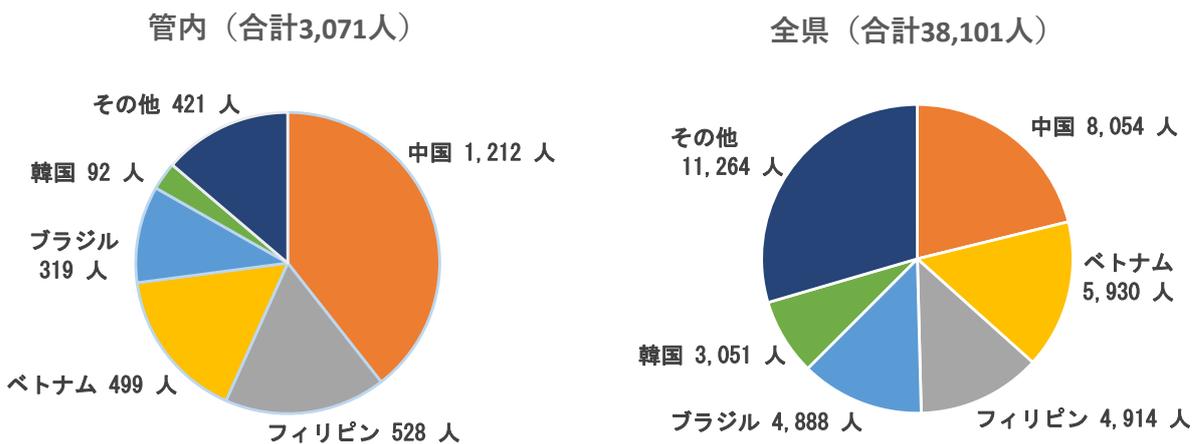
## 3 外国人住民の状況

### (1) 外国住民数の推移

管内の外国人住民数は、平成29年から増加傾向にありましたが、令和2年以降減少し、令和4年には再び増加し3,071人となりました。国籍・地域別では、中国が全体の約4割を占めています。



### (2) 外国人住民数の主な国籍・地域別内訳（令和4年12月末）



4 子ども支援施策

子どもの居場所「信州こどもカフェ」を普及拡大するため、南信州地区の子どもの居場所を運営している団体や個人・行政機関が集まり、「南信州子ども応援プラットフォーム」を運営しています。

(1) 設立状況

名 称 南信州子ども応援プラットフォーム  
 設 立 日 平成30年1月29日  
 参加者数 53の団体・個人 (令和5年3月31日現在)  
 活動内容 子どもの居場所づくりに関する情報交換、助言及び支援  
 プラットフォームへの参加の呼びかけ及びネットワークづくり



(2) 南信州子ども応援プラットフォームの活動(令和4年度)

開催日	内 容	参加人数等
毎月1回	イオン飯田店フードドライブ	
4月21日	第1回運営委員会	
8月25日	リーフレット増刷：ひとり親・公民館・放課後児童クラブへの送付	5,000部
9月10日	「子どもの居場所づくりセミナー」開催	48名
10月14日～31日	パネル展示(伊賀良公民館)	
10月15日	農業体験会(そばの収穫体験：飯田市下栗)	16名
10月30日	農業体験会(柿の収穫と市田柿づくり)	17名
12月1日～27日	パネル展示(松川町中央公民館えみりあ)	
12月18日	おためしこどもカフェ実施(ムトスぷらざ)	100名
1月20日～31日	パネル展示(さんとぴあ飯田)	
1月26日	第2回運営委員会	
2月22日	第1回全体会議(もりの学校、いいだ人形劇センター活動報告)	
3月18日	もりもり文化祭(寄付された文房具の提供)	60名

子どもの居場所づくりセミナー



柿の収穫体験



もりもり文化祭



- ・イオン飯田店 DE フードドライブの開催  
 (毎月第2火曜日実施。1年間の活動で約390kgの食品の支援を受け付けました。前半は地球環境高校の生徒、後半は有償ボランティアに、就労支援や生活支援を受けている方を依頼し、活動を継続しました。)



- ・パネル展示 (プラットフォーム構成団体の活動を周知するための活動)



伊賀良公民館



松川町中央公民館えみりあ



さんとぴあ飯田

- ・おためしこどもカフェ (会場：ムトスぷらざ)



## 5 将来世代応援県民会議

幼少期から青年期まで切れ目ない支援を推進するため、地域の関係機関で構成する長野県将来世代応援県民会議南信州地域会議を開催し、地域課題に応じた重点取組の推進と全県的取組の浸透に努めました。

### ◆ 南信州地域会議開催状況

開催日 令和4年11月11日  
 参加者 社協、商工連、就労支援センター、校長会、市町村、県機関、警察等  
 会議内容 長野県将来世代応援県民会議「南信州地域会議」について  
 南信州における子供・若者支援の取組状況について

## ◆フードドライブ

県庁及び各振興局と、県内のフードバンク関連団体が協力して「フードドライブ統一キャンペーン」を年3回及び、飯田合同庁舎単独開催3回の計6回開催

回数	期 日	名 称	重量(g)	提供先
1	6月13日～7月15日	夏休み前フードドライブ 統一キャンペーン	344,616	高森町社協・阿智村社協 ねやねや亭 他
2	10月1日～10月31日	食品ロス削減フードドライブ 統一キャンペーン	257,722	フードバンク信州 泰阜村社協
3	11月16日～12月16日	年末フードドライブ 統一キャンペーン	944,521	ハッピーハウス 喬木村社協 他
4	12月8日	人権集会フードドライブ (飯田合庁 講堂)	6,409	ほほゆめ
5	12月18日	IIDAWABE Festival フードドライブ (ムトスぶらざ)	68,446	フードバンク信州
6	3月13日～3月28日	南信州年度末フードドライブ	569,671	Hug・まめキッチン まいさぼ下伊那
合 計			2,191,385	

令和4年度は、年間を通じ、約2,191kgの食品の寄付を受け付けました。

御寄付いただいた食料品は、市町村社会福祉協議会や信州子どもカフェを通じて活用いただいています。

## 6 青少年健全育成支援

県では、青少年の健全育成を推進するため、長野県子ども・若者育成支援推進本部を設置し、7月、11月を強化月間として、啓発運動や有害環境チェック活動などに取り組んでいます。

管内（地方部）でも、これに合わせ街頭啓発活動や広報活動等青少年の健全育成推進活動を実施しました。



7 消防防災

(1) 火災発生状況

令和4年における管内の出火件数は61件（前年73件）で12件減少し、広域消防が昭和62年に統計を開始以来、最も少なくなっています。

出火原因の上位は、たき火、ごみ焼き、こんろで、前年と同順となっています。

建物焼損床面積は4,103㎡、林野焼損面積は74aで、総損害額については202,902千円であり、前年から72,197千円減少しました。

◆ 火災の概要

項目		令和3年	令和4年	前年比	
出火件数（件）	総数	73	61	-12	
	内訳	建物	44	29	-15
		林野	7	7	±0
		車両	5	0	-5
		その他	17	25	8
死傷者（人）	死者	2	1	-1	
	負傷者	12	10	-2	
建物焼損棟数（棟）		91	58	-33	
り災世帯数（世帯）		41	22	-19	
り災人員（人）		108	53	-55	
焼損面積	建物（㎡）	4,553	4,103	-450	
	林野（a）	248	74	-174	
損害額（千円）	総額	275,099	202,902	-72,197	
	内訳	建物	268,720	196,887	-71,833
		林野	3,742	0	-3,742
		車両	2,182	897	-1,285
		その他	455	5,118	4,663

資料『令和4年 消防統計（飯田広域消防本部）』

◆ 令和4年 主な出火原因（総出火件数61件）



資料『令和4年 消防統計（飯田広域消防本部）』

(2) 消防本部及び消防署（常備消防）の状況

管内の常備消防は、1市3町10村を管轄しており、大阪府や香川県より広い地域を1本部4署6分署、216人体制で受け持っています。

地勢的にも約86%が森林、それ以外が宅地や耕地という状況に加え、南アルプスや中央アルプスに囲まれた急傾斜地が多い地域です。

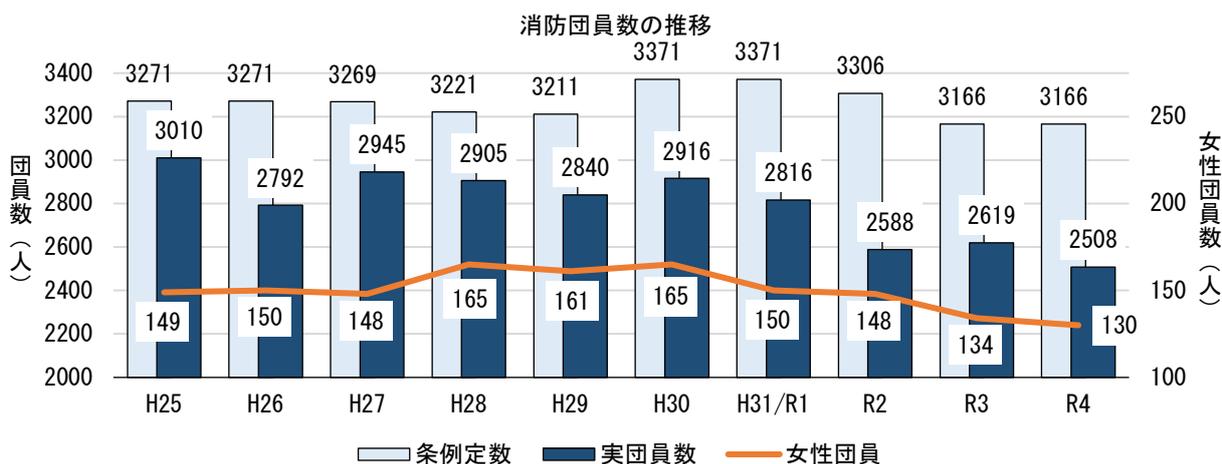
◆ 消防機械の配備状況

消防本部及び消防署（常備消防） （令和4年4月1日現在）				消防団（非常備消防） （令和4年4月1日現在）	
車種	台	車種	台	車種	台
ポンプ車	13	資機材搬送車	3	消防ポンプ自動車	28
小型ポンプ付積載車	2	指揮車	4	小型動力ポンプ付積載車	191
はしご車	1	支援車	3	小型動力ポンプ	59
化学車	1	査察広報車等	15		
救助工作車	2	一般車	5		
水槽車	1	無人航空機（ドローン）	4		
救急車	13				
人員輸送車	1	計	68	計	278

資料『消防年報 2022（飯田広域消防本部）』

(3) 消防団（非常備消防）の状況

令和4年4月1日現在の南信州地域振興局管内の非常備消防は、14団（1市3町10村）あり、その団員数は2,508名です。過去10年間の団員数等の推移は次のとおりです。



資料「消防年報 2022（飯田広域消防本部）」

少子高齢化による若年層の減少、地域社会への帰属意識の希薄化等から、新規入団者の確保が難しくなっている中、機能別消防団員（OB等）、女性消防団員の加入は、団員数確保のプラス材料となっています。

団員数について、令和4年は前年比111人の減少となっています。

管内の14消防団中、12消防団で女性消防団員を採用しています。

#### (4) 地域防災力の向上

管内は、14市町村すべてが「南海トラフ地震防災対策推進地域」に、11市町村が「東海地震に係る地震防災対策強化地域」に指定されています。

管内には、急傾斜地が多く中山間地域に集落が点在しており、土砂災害等により孤立する可能性がある集落が多いことから、訓練や研修会、防災マップの作成配布等を通じて住民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図っています。

当地域の県現地機関では、災害時の体制強化を図るため、各種防災訓練、研修会等を合同で実施しています。

また、静岡県、愛知県と県境を越えた広域的な連携強化のため、県境を越えた防災連携会議を開催しています。

#### ◆ 県境を越えた防災連携会議

##### ① 目的

県境を共有する長野県、静岡県、愛知県の各現地機関が、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に県境を越えて直ちに被害情報や通行可能道路等の情報を共有し、また、応援・受援等の防災対応を実施するため、今後の連携強化について検討し、具体化を図る。

##### ② 構成メンバー

長野県 上伊那地域振興局、南信州地域振興局  
静岡県 西部地域局  
愛知県 東三河総局、新城設楽振興事務所

##### ③ 活動

- ・3県の関係機関の連絡体制の構築
- ・防災連携会議の開催や防災関連施設の視察・研修会の実施（平成18年度～）
- ・大規模災害発生を想定した通信訓練の実施（平成24年度～）

##### ④ 令和4年度 活動実績

11月30日 防災連携会議（開催場所：愛知県奥三河総合センター）

- ・各県で実施している最新防災対応事項等
- ・昨年度会議以降の訓練実施状況について
- ・防災関係業務以外の管内市町村との連携について
- ・新型コロナウイルス感染症対策に係る自宅療養者の避難について
- ・各県で作成している冊子やアプリ等の活用事例について
- ・ペット同伴で避難を希望する者への対応について
- ・静岡県内（湖西市）の緊急輸送ルート等途絶時における県外う回路の検討について

#### (5) 新型コロナウイルス感染症対策

エスバードで令和4年4月に2回及び飯田合同庁舎で令和4年7月3日以降、計15日行った長野県集団接種の運営にあたり、受託事業者と連携し、接種会場が安全かつスムーズに運営できるよう必要な措置を実施。

